

八 組合員犧牲者救済機關設置ノ件

提出 第三支部
説明者 北 卯 元 七

理由

組合ノ運動ニハ必然的ニ其犠牲者ノ出ル事ハ明瞭ナル事安業ヲ
ル其ノ場合念社ト交渉ニ際シ経済的ニ困難ナル家趣ヲ思フハ不
知ナリト知りテハ毛解次ヲ急ギ不成功ニ終ル事モアラン故ニ犠
牲者ヲシテ其ノ心配ヲカラシムル爲メ提案スルモノナリ

実行
方法

職能者救済會救済委員會ヲ設ケルコト(理事會ノ監督下ニ置ケル)
委員ノ数ハ約キトシ組合長 理事長 各支部ヨリ一名宛ノ希望

九 辯論部設置ノ件

提出 第三支部

説明者 安 崎 加 賀 積

理由

貴也人意思ヲ發表スル方法ニ辯論ヲ以テスルト其言ヲ以テスル
ハトシテ其ノ方法ガアル事ニツキテハ其言ヲ以テ巧ニ發表スルト言
ハ共巧ニ辯論ヲ以テ大衆ニ感動ヲ興ヘル程ノ事ハトシテ其言
ハ故ニ組合員ハ辯論ヲ得修シ日常ノ斗争ニ資セントス

実行 教育部以テ一事業トシテ熱心ニ研究又尚ホ必要ニ依リテハ其
方法ナル組合員ハ俱樂部トシテモノヲ作ル事モヨイ事ナリ

十 組合員募集際ニ組合員ハ絶対ニ供養物ヲ
受ケ又奉

提出 第三支部

説明者 大 和 田 安 藤

理由 施主ニ於ケルハ牙類ノ費用ヲ要スル際ニ付テ其等組合員ハ遠
慮ナキニ於テ其ノ組合員ニ其ノ費用ヲ輕減シタリ